

# 千葉県大網白里市 —「おおあみしらさとけんこうクイズ!!!」から見えてくる健康課題—

## 市の概況(令和6年4月1日時点)

|   |   |         |   |       |   |   |        |
|---|---|---------|---|-------|---|---|--------|
| 人 | 口 | 47,980人 |   |       |   |   |        |
| 高 | 齡 | 化       | 率 | 34.5% |   |   |        |
| 後 | 期 | 被       | 保 | 険     | 者 | 数 | 8,416人 |
| 日 | 常 | 生       | 活 | 圏     | 域 | 数 | 2圏域    |

## 実施体制



## 取組の経緯

以前から、講師依頼のあったサロン(約20か所)に保健師や歯科衛生士、管理栄養士等が月1回程度出向いて、健康講話などを実施していた。年々、サロンの参加者数が減少する中で地域課題を把握する必要性を感じ、令和4年度に試行的に事業を開始。令和5年度から一体的実施事業開始に向けてスムーズに進むよう調整を行った。



大網白里市キャラクター「マリン」

## 企画調整・関係機関との連携

- **庁内連携**  
高齢者支援課、健康増進課、市民課の3課で、一体的実施庁内連携会議を定期的に開催し連携を図っている。  
また、市立病院なども参加する年1回の保健事業連携推進会議では、事業の進捗報告や今後の予定等について情報共有を図っている。
- **在宅介護支援センターとの連携**  
月1回会議を開催し、圏域ごとの意見を聞くなど連携を図っている。サロンにも同行している。
- **多職種との連携**  
地域ケア会議に薬剤師や理学療法士、ケアマネジャーが出席した際に、情報共有している。

## ハイスコアアプローチ

- **健康状態不明者対策**  
民生委員が地域の独居高齢者を訪問し声かけをしている。  
そのうち、不在等で面会できなかった独居高齢者かつKDBシステムから抽出された前年度の健診・医療・介護のデータがない者に対して、訪問、電話をして状況を確認する。アウトリーチを行い、その3か月後に改善率を確認する。



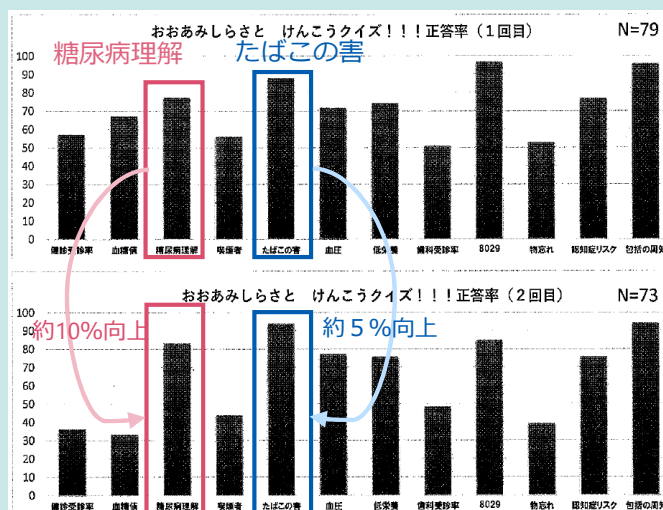
## ポピュレーションアプローチ

- **フレイル状態の把握と改善**  
サロンの参加者に後期高齢者の質問票と握力測定を実施。フレイルリスク該当率を把握した後、対象者がフレイル予防の取組を実施した後、その改善率を確認する。
  - **健康教育・健康相談**  
地域の健康課題に対応した健康教育や健康相談を実施し、理解度や改善率を確認する。  
「おおあみしらさとけんこうクイズ!!!」と題した地域の健康課題に関する〇×クイズを実施している。1回目は各サロンで説明をしながら実施し、2回目は1回目に参加した者のうち75歳以上の後期高齢者を対象として、後期高齢者の質問票に上記クイズを同封し、再度クイズに回答、返信用封筒で提出してもらうことで、各テーマの理解度、改善率を把握している。(返送率は73%)
- ＜クイズの例＞
- ・大網白里市の市民健診を受けている人の割合は、県全体の健診を受けている割合と比べて高い(健診を受けている人が多い) (○・×)
  - ・糖尿病は肥満の人がかかる病気だ (○・×)
  - ・1日3食お米を食べていれば低栄養状態にならない (○・×)

# 千葉県大網白里市

## 事業結果と評価概要（令和5年度結果）

|               |             | 対象者数 | 実施者数   | 評価指標                                                                                                                                      | 状況（評価結果）                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|---------------|-------------|------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ハイリスクアプローチ    | 健康状態不明者への取組 | 40人  | 34人    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アウトリーチ後に医療受診や介護サービスにつながった割合</li> <li>・アウトリーチ後に他機関（地域包括支援センター等）のサービスにつながった割合</li> </ul>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療受診や介護サービスにつながった者は16人</li> <li>・アウトリーチを実施した対象者のおよそ60%は家族の支援が得られ、地域とのつながりもあり、おおむね心身ともに健康な状況にあることがわかった。</li> </ul>                                                                                                                               |
| ポピュレーションアプローチ | 複合的取組       | -    | 累計529人 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・後期高齢者の質問票</li> <li>・握力データ</li> <li>・プレフレイルリスク該当率</li> <li>・地域課題の理解度</li> <li>・地域課題の改善率</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「おおあみしらさとけんこうクイズ!!!」では8029※やたばこの害、糖尿病の理解については正答率が高かったが、喫煙率については理解が低く、各項目の正答率は地域の健康課題とマッチしていた。</li> <li>・理解度の低かったテーマについて、サロン等で栄養や歯科、健康講話を実施し、理解が深まるような取組を行った。</li> </ul> <p>※8029…80歳になっても肉をはじめとした良いたんぱく質を食べることで介護いらずの元気な高齢の方を増やしていこう！という取組。</p> |



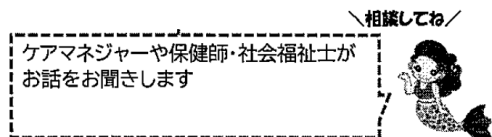
### <「おおあみしらさとけんこうクイズ!!!」で健康に関する知識力UP!>

12の設問項目のうち、1回目に比較して2回目では**糖尿病の理解**、**たばこの害**などの正答率が向上した。他の市町村と比較し、大網白里市は糖尿病の罹患率や高血圧の治療をしている人が多く、また喫煙率が高い現状から、サロンや老人クラブの場で健康講話を実施しており、その効果が得られた結果と推測される。

正答率が高い項目については、参加者の関心が高い項目と捉えている。一方、正答率が低い項目については、翌年度の講話テーマとして取り上げることで、普及啓発につながる工夫を行っている。

また、クイズには地域包括支援センターに関する項目も入れており、実際にこの項目を見て「本当に相談してもいいの?」という声があったことから、地域包括支援センターの周知にもつながっている。

⑫高齢者のからだのこと・心のこと・認知症のこと・介護のこと・お金のこと・家族のことなどは大網白里市役所の地域包括支援センターで相談することができる



## 課題・今後の展望

令和5年度に訪問した対象者のなかには、足（爪）に関するアウトリーチが必要と考えられるケースもあったことから、今後、地域支援事業の体力測定会等と連携し、専門家による足の状態についての支援を検討する予定。また、今後もクイズの正答率等を考慮して翌年度のテーマを検討していく。